

(款) 55教育費 (項) 25保健体育費 (目) 10体育施設費

◎**体育施設の経費**

体育施設整備事業

【 スポーツ課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

スポーツ・レクリエーション: 市民が自らの健康状態に応じてスポーツやレクリエーションを楽しむことができるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 多様なニーズに対応できる施設整備を進め、スポーツを身近なものにしていくため。

効果 スポーツ施設の整備を行う。

【事業の内容】

(1) 体育施設整備事業

・ PFI事業により屋内温水プールを整備し、市はPFI事業者が提供するサービスを購入することで、市民が身近にスポーツを行えるようにした。

(2) スポーツ施設建設基金積立金

・ スポーツ施設を建設するための基金を積立てた。

【中事業に含まれる実施計画事業】

スポーツ施設の整備(4-5-3-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
185,643	185,643	185,230		413
主な支出内訳				
・ 体育施設整備事業				
運営協議会委員謝礼				0
温水プール管理運営委託料				1,865
温水プール施設賃借料				82,761
・ スポーツ施設建設基金積立金				
スポーツ施設建設基金積立金				100,000
スポーツ施設建設基金利子積立金				604
主な特定財源				
・ 国県支出金				8,890

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (1) PFI事業で実施しているこもれび山崎温水プールの安定した事業の継続的な実施。 (2) 市民やスポーツ団体から要望の高い総合体育館や総合グラウンド建設に向けた取り組み。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) (1) 計画的な運営を行っている。 (2) 建設財源に充てるためのスポーツ施設建設基金の積立、運用を行った。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) (1) 更なる事業の安定化。 (2) 候補地の選定ができず、施設整備が進んでいない。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) (1) 更なる事業の安定化。 (2) 施設建設に向け、引き続き候補地の選定を図っていく。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 無
	こもれび山崎温水プールは、今後とも安定的な運営がなされ、事業が継続されるよう側面的な支援をしていく。 スポーツ施設建設基金は、設置目的に沿い、着実な積み立てを行っていく。			
担当課長氏名:		スポーツ課長 小池 忠紀		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 無
	こもれび山崎温水プールは、引き続き市民に親しまれる施設として運営をしていく。 スポーツ施設建設基金は、着実な積み立てを図っていく。			
担当部名	生涯学習部長	部長名	金川 剛文	